

この人紹介

当社従業員の趣味や特技、自慢のペットなどを紹介する企画『この人紹介』。今回は、自他ともに認める車好きのこの方にお話を伺いました。



第一輸送部輸送一課
武岡英次さん(48歳)



自宅ガレージ

武岡さんは車が好きだと聞きますが？

はい。車好きが高じて、自宅新築の際に庭にガレージを作りました。シャッター3つ！これは凄い！大きなガレージのある生活って、車好きには憧れですよ。

新築前は、自宅から離れた場所に作業場所を確保していたんですが、今は本心に自由にやれます。それにしてもこんな広いガレージで一体何を？

実はレース活動をやっていまして、自分でいろいろとチューニングを行っているんです。

レース？サーキットってこの近くにありましたっけ？

公道ではちゃんと安全運転です。ご心配なく。兵庫県の手嶋サーキットで開催されていたゼロヨンレース(400mの直線距離を誰が一番速いタイムで走るか)に参加していました。スポーツカー好きの友達の影響でチューニングショップ



雑誌掲載

に出入りするようになって、そこで整備の手伝い等もしながら自車の改造やチューニングをしました。当時は西日本二位にまでなっただですよ。

雑誌に掲載されるとは、すごいですね

ありがとうございます。当時全国大会への切符も手にしたんですが、当日になってまさかの大雨でレースが中止になり、全国への挑戦ならず…無念でした。

この頃から参加者の改造がどん

どん過激になり始めたのとお世話になっていたショップの方が亡くなられたこともあって、ゼロヨンレースからは遠ざかってしまいました。過激に、ですか。ちなみに武岡さんはどんな改造を？

うまく言えるかどうか分かりませんが…

最初に参加した時の車はなんとATのクレスタだったんです。ノーマル時の倍の560馬力まで出力アップしましたがやはりATでは限界があり、思い切って当時は珍しかった6速MTのスープリを購入。チューンアップを繰り返して最終760馬力まで改造しました。

車体が重くゼロヨンには不利でしたが、それでも加速は強烈で、フロントが浮いて視界も急激に変わります。フロントタイヤの接地面が減っていくのがステアリングから伝わってくるんです。なにしろ、400mを11秒で走り抜けるわけ、あつという間に210km/h前後まで到達します。シートに張り付くような加速に耐えつつ、軽量を活かして先行したライバルを視界に捉えながら徐々に追いつき抜き去るあの興奮を覚えたらもうやめられなかったですね。

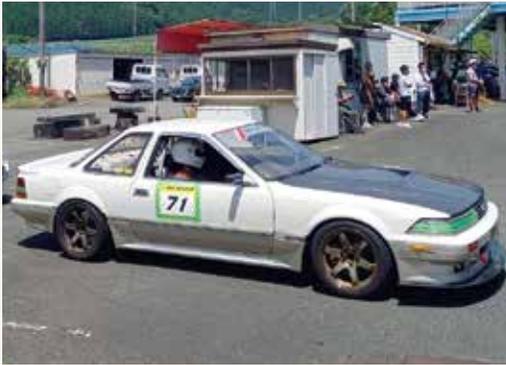
うわ、そんな車で公道を走っているんですか？

だから公道ではスピード出しませんが、笑ちゃんと車検も通りますし、通勤にも安全に使用していましたよ。街乗りからレース



スープラ

まで対応できるチューニングをしてくれるお店と出会えたおかげですね。
なるほど、奥が深いですね。ゼロヨン以外ではどんなレースを？
今はミニサーキットでのレースやジムカーナ(コーナリング技術を競うもの)、また一般公道を完全に封鎖して行われるレースに参加しています。
ゼロヨンのような専門性の高い改造が不要ということですか？
全く必要ないかと聞かれたらそうでもないですが、参加者の幅も広くなりましたし、自分でやれる範囲で色々挑戦しています。
やれる範囲とは言え、たくさん



サーキットにて

工具等も必要でしょうか？
ある程度は揃えてあるんですよ。工具ボックスはもちろん、スチールラックやコンプレッサー、塗装用スプレーガン、タイヤチェンジャーと...
あの、タイヤチェンジャーなんてお店で見ないんですか？
レースタイヤと街乗りタイヤを頻繁にシヨップで交換することを考えたら、買った方が早いんじゃないかと、思い切っていました(笑)
思い切り...ですか...ちなみに所有車輛は？
今はレース用のソアラが1台、実用性の高い軽自動車2台、レストア用に1台を所有して



ガレージ内

います。
レストアとは？
文字通り「復活」です。古い車を新車当時のように生き返らせるんです。私の場合は復活+改造なので、純粋なレストアではないかもしれませんが、まったく動かなくなってしまうってこの車を自分で修理・整備して、あとは塗装というところまで来ました。念願の完成まで、もう少しです。
今後の夢などはありますか？
プロドライバーとして安全運転で仕事をしながら、休日には好きな車をいじって、レストアも

車を語っているときは少年のような表情になる武岡さん、取材へのご協力ありがとうございました。憧れのガレージライフを満喫してください。



RX-7レストア中

完成させたいし、工具も充実させたいし、板金技術なんかも身に着けたいです。
そして参加するレースでは1位を取りたいです。2位では終わりたいくないんですよ。あの大雨で中止になってしまった全国大会の無念が、余計にそう思わせるのかも知れません。

この人紹介

当社従業員の趣味や特技、自慢のペットなどをご紹介する企画『この人紹介』。

今回は、釣り好きが高じて釣具メーカーとテスター契約までしていただいているこの方にお話を伺いました。



第一輸送部輸送三課 坂田 高志さん

以前伺いましたが、釣具メーカーとテスター契約をしていたんですね？

そうですね。縁あって七年ほど千葉県のメーカーさんのテスターをやらせてもらっていました。商品開発のお手伝いとして、ルアー用のロッド開発をしてましたね。

ロッドって竿のことですか？素人からするとそんなに開発するところがあるのかと思ってしまつてますが…



何を仰いますか！ロッドと言っても素材から長さや固さ、糸を通すガイドの位置や数に至るまで、とても難しく拘りがあつてますよ。

それは失礼しました。ところで、どうして釣具メーカーと契約することになったんですか？

小豆島で育つたものから釣りはすごく身近だったんですけど、専門学校進学を機に尼崎に引っ越しまして、そこでバス釣りに出会いました。小豆島に戻って、香川でも大会が開かれていたので、参加する内に釣果を競い合う楽しさを知り、それで仲間たちと「地元の小豆島でもこんな楽しい大会を開催したい！」と思って、みんなで協力して大会運営に乗り出しました。

それはアクティブですね！

当時の仲間たちの助けがあつたからできたことですね。それぞれの得意分野で分担して、ホームページ作成担当、地元での広報担当や、メーカーへの協賛依頼担当など、できることはなんでもやりました。

毎年開かれる国内最大規模の釣具メーカーのショーに出かけて、メーカーに協賛をお願いしたりしているうちに、テスターとして契約させていただく

ことになったんです。その後大会運営も軌道に乗って、四国・中国・関西からも参加者があつたり、プロの方もゲストで来てくれたりしました。

行動することって大事ですね。今も大会に関係したり出たりしているんですか？

今は個人の趣味として楽しんでいきます。



大物のアコウを釣り上げて

この写真、アコウです。どうですか？
うわ！私の知っているアコウのサイズではないんですが…



船上でニコリ

これは日本記録にあと100g
というところまで迫った大きさ
でした。
**日本記録！そんな大きいのが
よく釣れるもんですね。**
釣れる？違います。狙って
「釣る」んです！
水中の見えない相手との
駆け引きですから、狙った魚の
習性はもちろんだ、エサについ
ても詳しく調べます。そして普
段の生息場所や産卵に適した
地形、潮の流れ、風の向きや
水温などなど色んなことを
考えながら、その日好むであろ
うルアーを選んで獲物の前まで
どう運ぶかイメージしながら
「勝負」をするんです！



今日も大漁

ししし、失礼しました(汗)
とにかく大自然が相手の
スポーツなので、条件が揃う
てことは絶対じゃないんです。
だから同じポイントに行っ
ても、前回の正解が正解じゃな
く、毎回試行錯誤しながら
勝負できるって言うのが釣りの
醍醐味ですね。
**普段はどこに釣りに出かける
んですか？**
最近では南予まで出かけて
アカハタやオオモンハダを
狙ったりしますが、もう四国
四県は当たり前に出かけます
よ。島根にも行って日本海で



同僚と

釣りを楽しむこともありませ
小豆島から遠隔地採用して
いただき社宅制度を利用して
引越してきましたが、四国
中央市はどこに釣りに行く
にも立地としては最高ですし、
仕事も楽しいし、ノンでも働けて
本当に楽しんでいます。
社内の釣り仲間も多いんですか？
釣りを趣味にしてる方は
多いので、よく一緒に出掛け
ます。でも一言で釣りと言っ
ても、獲物・手段・場所等かなり
細分化されるので、みんなが
揃うっていうのは難しいです
けどね。



快く取材に応じて下さり
ありがとうございました。またビックリする
ような大物が釣れたら…
じゃなくて、釣り上げ
たら教えてください。

この人紹介

当社従業員の趣味や特技、自慢のペットなどを紹介する企画「この人紹介」です。

今回は、娘さんとお二人の音楽ユニット「パパ&まりあ」で活動されているこの方にお話を伺いました。



関西支店輸送課
北 洋之さん (47歳)

某日、関西支店にて

—「すみません、〇月〇日にちよつと私用で休ませて欲しいんですが」「はいはい。で、何の用事ですか?」「テレビの収録が」「えっ?」「ちよつと恥ずかしいんですけど、NHKのご自慢」に娘と出るので「ええっ!!(社内報のネタにせねば...)」—
長距離運行の合間を縫って、後日インタビューさせて頂きました。

「のご自慢」に出演したきっかけは?

もともと5〜6年前から、私のアコギ(アコースティックギター)と娘のボーカルで「パパ&まりあ」ってユニットで活動してたんですが、自宅でもまたま家族とテレビを見ていた時に、去年から始まった「NHKのご自慢」おうちでパフォーマンスってというのがあって、妻が「出たらええやん」言いながらパッパッとサンプル動画も送って応募しちゃいました。

すると早速制作会社からメール連絡があつて、その後いろいろと連絡や確認を取りながら撮影環境などの準備もして、リモートで出演することになりました。



「のご自慢」名物の鐘は?

はい。フルで鳴らしていただき合格でした。その時はウクレレが凄く達者な兄弟が出ていて、チャンピオンにはなれなかったのが残念です。というか、合格できてなかったら、このインタビューはお断りしていました。カッ!悪いので(笑)。

娘さんとの音楽活動について教えてください

音楽活動は、娘が9歳の時から始めました。娘は軟口蓋裂のため治療後も特に母音の発語障害があり、医師から「歌が好きなら、たくさん発声することが回復に良い」と言われたこともあって、当時娘がピアノを習っていたお店から音楽イベントへの参加を案内



されたときに、妻に強く勧められて参加することになったのが始まりです。その後、島村楽器のイベント出演時に絶賛され、続けざるを得なくなりました。

私も若いころは少しバンド経験がありまして、Van Halen が大好きでエレキギターを趣味で細々と弾いていたので、目に入れて泳がせても痛くないほど可愛い娘のために初めてのアコギに挑戦しました。

しかし慣れない上にアコギ

一本の伴奏なので、アレンジに毎回苦労します。イベント出演などの回数も重ね、娘が評価されるにつれ、ギターの練習量も増加の一途です。まさか四十過ぎてこんなにギターを練習することになるとは(笑)。



そんなこんなで現在娘は発語に全く障害はなくなり、言語科の医師から、娘の動画を回復事例として利用したいとの申し出がありましたので、使っていたています。
娘さんはどんな曲を歌われるのですか？

最初は、やはり子供なので「フライング」などアニメの主

題歌や挿入歌から始めましたが、今は色んなアーティストの曲をカバーしています。娘が好きな曲はLISAの曲が多く、ライブにも行きました。

ちなみに「NHKのご自慢」で歌った曲は、LISAの「炎」でした。他にもいろいろ歌っています。

YouTubeチャンネル「パパ&まりあ」に動画をアップしていますので、よろしければご覧いただけると幸いです。

YouTubeチャンネルには、LISA、中島みゆき、村下孝蔵、斉藤和義など、多くのカバー演奏動画がアップされています。

北洋之さんと娘さんのチャンネル「パパ&まりあ」

音楽イベントなどへの参加は、どのようにするのですか？

まず妻がイベント情報を仕入れてきまして、もう強く強く応募を勧められ、スケジュールが何とかなる場合に、参加申し込みをします。



また、ありがたいことに、主催者側からのオファーをいただくこともあります。今回のようにテレビに映る機会はなかなかないのですが、FMラジオで紹介されたこともあります。



妻は、もともと積極的に引張るタイプではなかったと思うのですが、娘との音楽活動をきっかけに新たな二面を見出すことができたと思っています。

今後の目標などについてお聞かせください

私自身については特に目標みたいなものはないのですが、最近、母娘でオリジナル曲の作詞をしている模様です。たぶん今後はオリジナル曲を作っていくことになるんじゃないかと思っています。

娘に対しては、本人がやりたいことを目一杯やってくれたらと思います。娘も今後どんどん成長していきますし、音楽活動についても「もうパパいらんわ」と言われるまではサポートを続けようと思います。

